

平成 18 年 7 月 28 日

沖縄電力株式会社

平成 18 年度第 1 四半期決算について

1. 販売の状況

当第 1 四半期における当社の販売電力量は、電灯においては、お客さま数の増加により前年同期を 1.5%上回りました。電力においても、業務用電力などで、お客さま数が増加したことなどにより、前年同期を 2.2%上回りました。その結果、電灯と電力（特定規模需要を含む）の総販売電力量は、前年同期に比べ 2.0%増の 16 億 83 百万 kWh となりました。

（単位：百万 kWh、%）

	当第 1 四半期 A	前第 1 四半期 B	増減 A-B	前年同期比 A/B
電 灯	646	637	9	101.5
電 力	1,037	1,014	23	102.2
合 計	1,683	1,651	32	102.0

2. 収支の状況

収入面で、電気事業において、販売電力量の増加や燃料費調整制度の影響があったことに加え、その他事業において、民間工事売上の増加があったことにより、売上高は前年同期に比べ 24 億 83 百万円（+7.3%）増の 366 億 70 百万円（個別では、5.3%増、340 億 7 百万円）となりました。

一方、支出面では、電気事業において、金武火力発電所の償却進行に伴う減価償却費の減少や修繕費、支払利息の減少等があったものの、原油価格が昨年に比べて約 3 割も上昇していることから、燃料費が大幅に増加（+23 億 89 百万円）したことに加え、人件費及び他社購入電力料の増加、その他事業における売上原価の増加等により、経常費用は前年同期に比べ 28 億 63 百万円（+8.9%）増の 351 億 92 百万円（個別では、7.0%増、324 億 83 百万円）となりました。

以上の結果、経常利益は、前年同期に比べ 2 億 98 百万円（△14.2%）減の 18 億 10 百万円（個別では、18.7%減、17 億 70 百万円）、四半期純利益は前年同期に比べ 12 百万円（△0.9%）減の 12 億 82 百万円（個別では、18.8%減、11 億 32 百万円）となりました。

■平成 18 年度第 1 四半期 連結決算成績（増収減益）

（単位：百万円、%）

	当第 1 四半期 A	前第 1 四半期 B	増減 A-B	前年同期比 A/B
売 上 高	36,670	34,187	2,483	107.3
経 常 利 益	1,810	2,108	△298	85.8
四半期純利益	1,282	1,294	△12	99.1

■平成18年度第1四半期 個別決算成績（増収減益）

（単位：百万円、％）

	当第1四半期 A	前第1四半期 B	増減 A-B	前年同期比 A/B
売上高	34,007	32,301	1,706	105.3
経常利益	1,770	2,177	△407	81.3
四半期純利益	1,132	1,395	△262	81.2

<主な収支好転要因>

①電灯・電力料の増	16.7億円	（対前年同期 105.2％）
②減価償却費の減	4.2億円	（対前年同期 93.2％）
③修繕費の減	1.9億円	（対前年同期 94.2％）
④支払利息の減	1.9億円	（対前年同期 83.1％）

<主な収支悪化要因>

①燃料費の増	▲23.8億円	（対前年同期 136.2％）
②人件費の増	▲2.7億円	（対前年同期 106.5％）
③その他費用の増	▲1.3億円	（対前年同期 103.5％）
④他社購入電力料の増	▲1.0億円	（対前年同期 103.2％）

3. 業績予想

平成18年度の業績予想につきましては、売上高は1,625億円（個別1,470億円）、経常利益123億円（個別110億円）、当期純利益75億円（個別70億円）を見込んでおります。なお、本年5月に公表した業績予想より変更ありません。

	売上高	経常利益	当期純利益
連 結	1,625億円 (103.5%)	123億円 (79.7%)	75億円 (75.2%)
個 別	1,470億円 (102.3%)	110億円 (78.2%)	70億円 (76.4%)

※（ ）は対前年度比